

近代日本の黎明期

東北の**庄内**地域では

江戸時代の影が色濃く残っていた

旧来的な体制 重い**課税**

民衆は旧藩士族の施政に**反抗**し

それは**法廷闘争**へと発展する

新たな時代の幕開けに

各々の意志と主張が**絡みあう**

ワッパ騒動150年 特別展

ワッパ騒動

自由民権運動の先駆け

R6

R7

11.15Fri - 1.20Mon



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 Tel.0235-22-1199

開館時間 11月 9:00～17:00 12月～ 9:00～16:30 (入館受付は30分前まで)
休館日 11月 無休 12月～ 水曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
入館料 一般1,000円／高大生400円／小中生300円(20名以上で団体割引有り)

主催 公益財団法人 致道博物館
共催 山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会
協力 鶴岡市郷土資料館・ワッパ騒動義民顕彰会

ワッパ騒動150年 特別展

ワッパ騒動

自由民権運動の先駆け

令和6年11月15日(金) — 令和7年1月20日(月)

終
意
主
張
未
来

長きに亘って続いた江戸時代、東北の日本海に面した庄内地域は、藩主酒井家が治める大名領であった。肥沃な平野は良米を育て、酒田湊は物流の拠点として大きな富をもたらしていた。

戊辰戦争が勃発すると、庄内藩は最新鋭の武器を手にし、幕府方として戦った。降伏謝罪後は藩主の隠居、減石などの罰に処されたが、その後成立した大泉藩や第二次酒田県は、旧藩士族が主導する形で政治運営が行われた。



近代化を進めて新たな国づくりを目指す明治政府は、さまざまな政策を太政官布告として発した。

そのひとつに石代納の許可がある。政府は年貢米の金納を認めたが、酒田県はそれを農民に伝えず米納させていた。「ワッパ騒動」は、農民による石代納許可の要求、そして余分に納めていた年貢分の返還要求に端を発する。騒動の指導者や農民は、何度も東京へ上って訴訟を行い、法廷闘争を繰り広げた。

日本の自由民権運動の萌芽としても注目される「ワッパ騒動」。本展では、庄内に伝わる古文書を中心に歴史的経緯を辿ります。

講演会① ワッパ騒動とは何か？

日時:12月8日(日) 13:30~16:00

会場:鶴岡市立図書館 2F 講座室

講師:山内 励 氏(山形県地域史研究協議会 副会長)

升川 繁敏 氏(ワッパ騒動義民顕彰会 事務局長)

申込:要申込、先着60名

講演会② 松平親懐と菅実秀からみたワッパ騒動

日時:12月22日(日) 14:00~16:00

会場:致道博物館内 旧鶴岡警察署庁舎ホール

講師:門松 秀樹 氏(東北公益文科大学 教授)

申込:要申込、先着40名

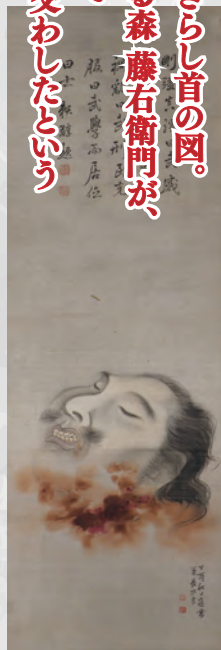
申込み ☎ TEL:0235-22-1199 Mail:reserve@chido.jp



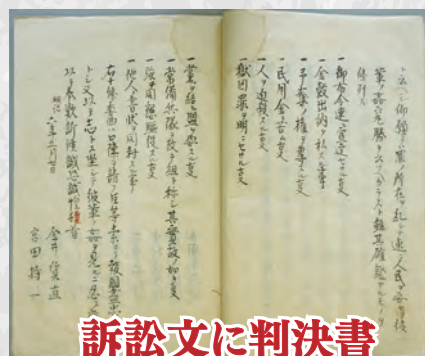
ワッパとは？

弁当箱として使われていた曲げワッパのことです。訴訟に勝てば、余分に納めていたお金がワッパ一杯分返ってくると言われたことから「ワッパ騒動」と名付けられたとされます。

大塩平八郎のさらし首の図。
訴訟で上京する森藤右衛門が、
この掛軸の前で
盟友と水盃を交わしたという

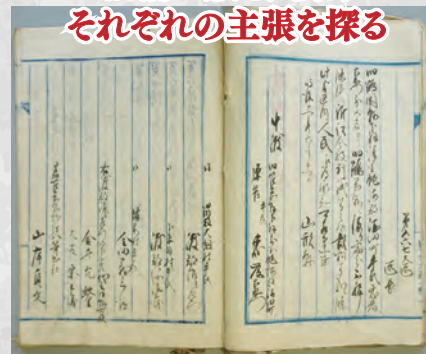


大塩平八郎梟首画
酒田市資料館光丘文庫蔵



訴訟文に判決書

旧藩士族と民衆、
それぞれの主張を探る



明治十一年御用留
鶴岡市郷土資料館蔵

大泉騒動記
鶴岡市郷土資料館蔵

同時期開催!!

鶴岡市郷土資料館

「ワッパ騒動」展

11月下旬 ~ 1月中旬

鶴岡市立図書館 2F

展示コーナー

(家中新町14-7)

TEL: 0235-25-5014



■JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分

■山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分

■庄内空港より
車で20分



致道博物館
CHIDO MUSEUM

「致道」の名称は、庄内藩校致道館に由来します。
出典は「論語」で「君子学んで以て其の道を致す」です。

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp



当館ホームページ



当館X